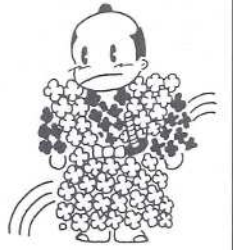


おしらせ



通知のない人は連絡を

三股町成人式

とき 平成6年1月5日(水)

9時から受付、10時挙式  
ところ 町勤労者体育センター

新成人者の皆様にはハガキで通知しますが、届いていない方は生涯学習課にご連絡下さい。  
生涯学習課 ☎1111

軽油引取税の税率が  
引き上げられます。

12月1日から

現在	12月1日から
1リットル 当たり 24円30銭	1リットル 当たり 32円10銭

軽油引取税は、道路の整備に用いるための県の税金です。  
生活道路をはじめ、道路の整備は今後なお一層推進していくことが必要です。このため、平成5年

第45回人権週間  
12月4日~10日

こんな時には  
人権擁護委員に

人権が侵されたり、侵されるおそれがあるとき、いじめや体罰、その他家庭内の問題、借地、借家、登記、金銭消費貸借問題などいろいろなことでお困りの方は、お近くの人権擁護委員が法務局へご相談ください。

度を初年度とした第11次道路整備5ヶ年計画が策定されますが、現行の税率では十分にはその財源をまかなうことはできません。  
そこで、この計画に合わせて軽油引取税の税率が引き上げられることになりました。皆様のご理解とご協力をお願いします。  
なお、ご不明の点がありましたら、左記へお問い合わせください。  
都城市北原町24街区21号  
都城県税事務所  
☎4516

今月の納税  
固定資産税  
3期  
口座振替を利用  
しましょう。

相談は無料で、秘密は固く守られます。  
☆町内の人権擁護委員  
福重 美義 蓼池1476番地 ☎1090  
草留千枝子 榊山4435番地7 ☎4099  
隈元 喜一 宮村1149番地2 ☎4029  
轟木 秀明 榊山3985番地 ☎1729  
☆宮崎地方法務局都城支局  
都城市八幡町15街区10号 ☎0490

地震災害に善意

7月の北海道南西沖地震に対して、多くの皆様から義援金が寄せられました。役場福祉保健課(日本赤十字社三股分區)で取り扱ったもののうち、未掲載分をお知らせします。(敬称略)  
甲斐大輔 1,877円  
佐澤四雄 10,000円  
蓼池青壮年部 10,000円  
下新3支部 15,000円  
三股町議会 30,000円  
※町議会は鹿児島島の台風災害に対しても3万円を贈っています。

無料人権相談所

次の日程で無料人権相談が行われます。  
とき 12月3日(金)  
午前10時~午後3時  
ところ 三股町老人福祉センター

一般寄付

赤い羽根共同募金歌謡チャリティショー実行委員会  
榊山小学校PTA 3万円  
赤い羽根共同募金歌謡チャリティショー実行委員会(新田辰美会長)は身体障害者を中心に  
なつて歌謡チャリティショーを実施され、その益金の一部を町視覚障害者福祉会(馬渡四郎会長)を通して、榊山小PTA(中村勇会長)は運動会を実施されたバザーの益金を、それぞれ社会福祉事業に役立てて下さいと寄付されました。ありがとうございました。

愛の寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。  
故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のため

に有意義に利用させていただきました。誠にありがとうございました。  
平成5年10月1日から平成5年10月31日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
田嶋ミル	姉	平田シヅエ	大鷲	2万円
山元エ子	夫	達弥	蓼池	3万円
安田 札	夫	笑一	寺柱	10万円
山本 齊昭	母	シズエ	山王原	2万円
池田 克之	父	久義	飯屋	3万円
川原ミヤ	夫	虎男	上米	3万円
和田 勇	母	タマ	小鷲	3万円
轟木 辰美	母	タマ	轟木	2万円
松元 一徳	父	寅夫	上米	1万円
上右 睦子	夫	武治	上米	2万円
松野タミ	夫	清盛	小鷲	10万円
松山マス	夫	重雄	山王原	3万円
吉原サキ子	夫	次盛	植木	2万円
星 次男	父	兼親	轟木	5万円
上西 利光	妻	マサ子	上米	5万円
崎田 稔	母	シマ	田上	3万円

三股町の人口  
平成5年11月1日現在

男	10,557人	出生	22人
女	11,647人	死亡	11人
計	22,204人	転入	89人
		転出	88人
		前月比	+12人
		世帯数	7,508戸(+21戸)



女流陶芸家として活躍する福山陽子さん(40歳、下新)。今月24日から5日間、宮崎市内のギャラリーで個展を開く。

# 12名・1団体を表彰

## 11月3日に町表彰式



〔前列〕左から橋口さん、丸田さん、黒木さん、町長、中村さん、永井さん、二ノ方さん、児玉さん  
〔後列〕右から増田さん、上西さん、畑中さん、中石さん（代理）、佐澤さん、東高青少年赤十字部

平成5年度表彰式が11月3日、役場大会議室で開かれ、元町選挙管理委員会委員長の黒木正敏さん（76歳）ら12名1団体が表彰されました。表彰式は、各分野で本町の発展に貢献された人や町民の模範となる善行をされた人を顕彰するため毎年「文化の日」に行っているものです。式には町三役をはじめ、町議会議員や教育委員、自治公民館長、各民主団体の長など関係者140名が出席し、受賞者を祝福しました。また式の中で、佐澤四雄さん（84歳）に町社会福祉協議会から感謝状が贈られました。

### 功 労 賞

**黒木 正敏さん**  
(76歳)  
**丸田 紀子さん**  
(73歳)

### 行政部門

黒木さんは選挙管理委員会委員長として、丸田さんは同委員として多年にわたって本町選挙事務の公正かつ適正な執行と明るい選挙の実現に尽力されました。

この間、9回の国政選挙と18回の地方選挙が実施されましたが、ただ一つのミスもなく選挙事務が適正に行われたのは、お二人の公正中立の姿勢と優れた指導力によるもので、本町地方自治の発展に寄与された功績は大変大きなものがあります。

### 功 労 賞

**永井 宗高さん**  
(72歳)

### 行政部門

永井さんは本町の代表監査委員として多年にわたって一般会計をはじめとする町会計の各種監査や検査に尽力されました。

### 功 労 賞

**二ノ方逸郎さん**  
(66歳)  
**児玉 敏雄さん**  
(66歳)  
**橋口袈裟夫さん**  
(77歳)

### 社会部門

3名の方々は、地区公民館長として多年にわたって地区公民館の育成発展や地域の活性化などに尽力され、町政発展に多大の貢献をされました。



### 善 行 賞

#### 町に100万円を寄付

**中村 英藏さん (82歳)**  
**中石 典久さん (46歳)**

中村さんは今年2月に本町名誉町民になられたのを機会に、中石さんは沖縄県で事業を営んでおられますが、故郷の発展を願って、それぞれ100万円を文化会館の建設資金として寄付されました。

### 献 血 に

#### 率先して協力

**増田 親忠さん (57歳)**  
**上西 俊三さん (57歳)**  
**藤本 恵さん (56歳)**  
**畑中 節子さん (51歳)**

4名の方々は献血の重要性を深く認識され、多年にわたって献血に協力されてきました。この相互扶助の精神は他の模範とするところであり、社会福祉の発展に大きく貢献するものです。

### 声の広報紙づくり

#### 都城東高等学校 青少年赤十字部

同部は平成3年5月以来、「広報みまた」を毎月テープに録音して町内15名の視覚障害者に届けており、利用者から町政の動きや町内の出来事などがよく分かると好評です。

他人のことを顧みない現代の風潮、特にその傾向が強い若い世代にあって、学業のかたわらボランティア活動に積極的に取り組んでいることは他の模範とするものであり、視覚障害者の福祉向上に大きく寄与するものです。

### 盛大にさわやかスポーツ祭

#### 5種目に1、400名が参加

第1回町さわやかスポーツ祭は10月31日、旭ヶ丘運動公園を中心会場に1、419名もの選手が参加して盛大に開かれました。スポーツ祭は、午前8時30分から同運動公園で総合開会式が行われた後、武道体育館や勤労者体育センター、三股中体育館、河川敷公園など数会場に分かれ、5種目で熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおり

#### ミニバレーボール

▼35歳以下の部  
優勝 小鷲1支部  
準優勝 あすなる  
3位 はまゆう、飲んだくれ

#### ゲートボール

優勝 東原A 準優勝 植木  
3位 勝岡

#### 壮年ソフトボール

優勝 蓼池 準優勝 植木  
3位 上新



#### 婦人ソフトボール

優勝 7地区 準優勝 蓼池  
3位 飯屋

#### グラウンドゴルフ

▼男子の部  
優勝 下沖与一  
準優勝 川原 勝  
3位 大崎宏忠

#### ▼女子の部

優勝 時任サツ  
準優勝 佐澤シヅエ  
3位 山元正子

#### 子ども相撲〔男子〕

▼団体戦  
優勝 宮村A 準優勝 山王原A  
3位 梶山A、宮村B

#### ▼個人戦〔優勝者のみ〕

1年 西田翔平（前目）、2年 坂元浩亮（前目）、3年 中原光一郎（花見原）、4年 有馬政孝（今市）、5年 森和也（山王原）、6年 松山誠（山王原）

#### 子ども相撲〔女子〕

▼団体戦  
優勝 宮村A 準優勝 宮村B  
3位 山王原A、神田A

#### ▼個人戦〔優勝者のみ〕

1年 楠原美里（植木）、2年 兼清美穂子（上新）、3年 児島紀美代（山王原）、4年 児玉由香（五本松）、5年 青石麗永（花見原）、6年 留田香織（山王原）



安良岡 桃子 (旧姓：桑畑、山王原出身)

三股町の皆様、お元気ですか。今年も長雨、冷害、相次ぐ台風、そして9月3日の大型台風と大きな被害を受けられ大変なご苦労をなさったことと、心からお見舞い申し上げます。

本日に今年ほど故郷のことが心配になったことはありません。三股町は立派な堤防で守られているので安心感がありました。少しも勢力が弱まるように祈らずにはおられません。こんなひどい年は続かないでしょう、どうぞ力を尽くして乗り切ってください。今頃、三股町では刈入れで忙しいことでしょう。黄金色の田んぼや道を思い浮かべると三股にいた頃を思い出します。30〜40年前の頃は誰もがよく親の手伝いをしていました。私は山王原出身ですが、三股町のほとんど細い道まで覚えています。家の手伝いで毎日

のように自転車で行ったり来たりしたからです。梶山の坂道、樺山の道、植木、宮村、勝岡の道を精米所へ鶏のエサのヌカを買いに、家の店の仕入品を積んだり、配達に行ったりと……

その頃はどこもジャリ道で真中が高く両脇が坂のようになっていたので、バスとすれ違ふときなどはザザザと自転車が倒れたものですが、今は舗装され国道ができ大手がひしめいているとか……目まぐるしいほどの世相の移り変わりを覚えます。

私は、昭和41年に上京、2年間教師をし、主人の仕事で海外生活や田舎の家の留守番暮らしの後、只今は川崎市で2人の子の母親として暮らしております。都会の生活はとても厳しく、いつも三股の美しく大らかな景色と優しい人々、そして三股弁を思い出しております。ですから1年1回の在京三股会は本当に楽しみにして出席しています。今年も10月23日に三股から町長さんや関係者の方々がいらして下さり、それはそれは盛会でした。年代を超えてお話をしていると、たくさんの方々に世話になって今があるのだと

しみじみと思います。優しい気持ちで接して下さった先生、先輩、町の方々に深く感謝いたします。皆様、いつまでもお元気でいて下さい。

次は神宮司辰也さん(山王原出身)にリレーします。



グレンのひとり言



グレン・アンダーソン

初めて誰かにお会いし、聞かれる事は決まっているように感じます。もちろん出身、アメリカの何州、日本料理が好きかどうか、何年日本に住んでいる等を聞かれます。でも、僕は家で何を聞かれますかや彼女がいるかどうかまで聞かるとむかついてしまいます。な

ぜんなら、失礼だと思います。アメリカでは人のプライバシーを守るために私生活について聞くことは遠慮されます。

しかし、僕がアメリカの考え方を伝えるには太平洋を渡って日本に持って行き、日本の皆さんに認めてもらおうとしたら大失敗でしょう。僕は国際理解じゃなかったら、せめて調和が必要だと思います。それで、そういう質問をされた時に失礼だと判断しない方が平穏が守れるでしょう。ずっと日本の事を理解したいと思っていますが、アメリカの考え方で判断してしまおうとそれができないでしょう。(原文のまま)

グレンの「ふれあい広場」

町教委では、国際交流員のグレン・アンダーソンと交流を深めていただくため、毎月2回「グレンのふれあい広場」を開いています。

★海外旅行を楽しむ

とき 12月9日(木) 午後7時  
ところ 三股町中央公民館  
グレンが海外旅行について話をします。参加は自由。お気軽

★アメリカのクリスマス

とき 12月16日(木) 午後7時  
ところ 三股町中央公民館  
申込期限 12月10日  
クリスマスツリーの飾り付けや歌、プレゼントの交換をしてアメリカのクリスマスを楽しもう。

★日本のお正月

とき 1月15日(土) 午前9時  
ところ 三股町中央公民館  
申込期限 1月12日  
グレンと一緒にもちつきをしたり、はねつきやこま回しなど正月の遊びをします。  
※アメリカのクリスマスと日本のお正月については参加費が必要です。申込みと詳しいことは生涯学習課 ☎521111

あかな 贖いの日々

私は、平成2年10月13日の午前0時50分頃、前途ある高校二年生の尊い命を奪ってしまいました。

その日は、前日、会社の業務を終了後、部下と仕事のことなどを話しながら酒を飲み、その後部下と別れ自分の車に戻り、車の中で約2時間程度仮眠をした後、酔いもさめてきたので、自分がしっかりとって大丈夫だろうと、車をスタートさせてしまいました。しばらく走っていると、酒の影響と会社での試験のことを考えていたため、いつも左折する信号を直進してしまい、気がついた時には、それまで一度も通ったことのない道路を走っていました。

そのため、元の道路へ戻ろうとあせり、また、夜中ということもあって対向車がほとんどなかったために、スピードを出してしまいました。



クと正面衝突してしまいました。私は、あわてて被害者の所へ行き、抱きかかえてみましたが、ほとんど意識はありませんでした。その場で救急車がくるのを待ちながら、なんとか生きていてほしい

甘すぎた自分

会社員 (34歳)

と願っていました。しかし、警察の人と現場検証をしている途中で被害者が亡くなりましたという話を聞いて逮捕されて警察署へ連行され、大変なことになってしまったと、一睡もしないで被害者やご家族の方のことを考えていま

あなたの声を町政に



福永町長と語ろう  
ふれあい行政  
モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

記

1、日時 12月20日(月) 午前7時~8時  
2、場所 役場4階会議室

毎月20日にいっど!!

前回のフォーラムでは次のようなご提言をいただきました。

- ごみの分別を各家庭で徹底するよう広報してもらいたい
- 英会話などレベルの差があるので、生涯学習は段階に応じて計画して欲しい
- 町で公園墓地を建設する計画はないのか
- 町の施設を知らない人がいるので、もっとPRすべきだ
- 文化会館の建設が計画されているようだが多目的な施設にして欲しい
- 町民体育大会を4~5年に1回は開催すべきだ

毎月20日に開催

# 子どもの声を聞く会

(その1)

子どもたちが日頃考えていることや、郷土づくりなどの意見を聞こうと、「子どもの声を聞く会」が11月3日、役場大会議室で町表彰式に引き続き開かれ、各小中学校の代表児童・生徒9名が力強く意見を発表しました。

また、会には国際交流員のグレン・アンダーソンさんが特別参加。アメリカの銃問題について話をしました。今月号から、子どもたちの声を連載します。

## ごんご

### 郷土にしたい



三股小 6年 新城 有美子

私達の住んでいる三股町は、大変水と緑の豊かな町です。そして、歴史もたくさん残っている町です。今は人口も増えてきて、新しい町になりつつあります。

数年前、家族で史跡めぐりをしました。三股町に、昔からある田の神様やたて池のかくれ念仏洞、城あなどいろいろな所を見学しました。三股にこんなたくさんさんの史跡があるなんて、思ってもみませんでした。その中でも一番心

に残っているのは、かくれ念仏洞です。中に入れたのに感動しました。そんなに広くもなく、目立たない場所にあったので、かかれて仏様をおがむのに、いい場所だなあと思いました。でも、藩政時代に作られて今もくずれずによく残っているなと感じました。それも土を掘っただけのほら穴だからです。

次に三股小の校歌にうたわれているように水と緑がとても豊かな町ですが、最近、生活は水やゴミなどで、魚が住めなくなりそうなくらい、川がよれてきています。特に三股は、上流の方なので、下流の方に住んでいる人達のためにも、もっと川を大事にしてあげなくてはなりません。そのため、一人一人がゴミを捨てないように心がけていくと、もっともつときれいな川になっていくことでしょう。私は、前に地区でゴ

ミ拾いをしました。あきカンや、おかしなふくろなどがものすごくいっぱいあり、びっくりしたこと覚えています。これからも、ゴミ拾いを心がけていこうと思います。まずは、落さないように気をつけていきます。

三股には、緑がたくさんあります。上米公園やつじが丘、そして、多くの山々などに特に集まっています。これらを大切に保ぜんして、守っていかなければなりません。私の考えだけ、三股町に遊びに来た人が、大いに楽しめるように、三股の特ちょうである木を、道路の両わきにずらりと植えて、並木のトンネルを町内全体に作るのです。春は新緑、夏は木かげ、秋は紅葉のトンネルが見れるようにしたいです。

それから、三股小学校の大せんぱい達が、今から百年ほど前に、せんだんの木などを植えてくれました。そのおかげで、私達は緑に包まれた学校で、気持ちよく勉強に取り組むことができます。大せんぱい達に感謝しなければなりません。そして、守り育てていかなければなりません。

今、三股町の人口は増えつつあります。そこで、気をつけなければいけないのは交通のことです。車が増えたりするからです。とび出しなどを特に気をつけなければなりません。私は今、集団登校で

班のみんなの安全を考えています。大人になっても考えていきたいものです。それと、年寄りや、体の不自由な人などのことも考えて、もっと信号機をとりつけたり、下水道のふたをできるだけ早く、つけてほしいです。

## ぼくの 学校生活



長田小 6年 谷山 勇一

ぼくは、五年生のときには、学校へ行くのがあんまり好きではありませんでした。それは、前の六年生がいろいろな遊びを昼休みとかにしてくれなかったからです。その前の六年生は、「サッカーするぞ。」

とよくさそってくれました。六年生が、卒業するとき思いました。

ね。」と言ってくれました。見に来てくれた人がとてもいい運動会とほめてくれました。先生もほめてくれました。

ぼくは、長田小学校の運動会を、いい思い出にできてとてもうれしく思いました。そして、長田小学校は少ない人数だから下級生と上級生も、いっしょになって、いろいろなことにちよう戦していくといいと思えました。

勝岡小学校には、最大の誇りである緑ヶ丘がある。この緑ヶ丘は、もう百五十年になる。そう、勝岡小学校が建てられて百五十年間、ずっと勝岡小の様子を見てきたのである。四季に応じて衣替えをする木々、春には美しい花々が咲きみだれ、夏には木がたくましくなり、葉が青々としげる。秋には赤、黄の葉が変身し紅葉する。そして冬には、一年の役目を果たし、枝だけになり眠りにつく。そしてまた翌年の春へと...

このように丘は私達を楽しませてくれる。草木の研究をしたり、木の実拾いをしたり。中でも木の実は一年生から六年生にまで人気がある。どんぐり、しいの実、時には栗の実を拾ってくる人もいます。そんな自然のすばらしい恵みのおかげで、私達はいつも緑と友達である。勝岡小の誇りが、今度は三股町の誇りになればいいと思う。

やりとげた時の感動を味わうし、いろんな人との出会いもあり、もっと町全体がまとまってくると思っています。私は、町の歩こう大会に参加したことが、何回かあるけど、知らない人とかわすあいさつも、とっても気持ちよかったです。歩き終えた時のうれしさも忘れられません。

先祖から受けついで大切な伝統文化を私達は見守っていかねければなりません。緑なども大切に、大好きな三股町をもっと住みよい町にしていきたいです。

自分が六年生になったときは、下級生のめんどうをみたり、先生たちにはめられるような行動をしていくぞと。

そして、春休みも終り、ぼくたちも六年生としての生活が始まりました。やっぱり勉強もむずかしかったりして、大きなプレッシャーがかかりました。だけどぼくたちがいちばん、自信をもったのが下級生のめんどうをみることでした。ぼくたちは、前の六年生のようにみんなを集めたりして、サッカーをしました。みんな楽しそうにボールをけつていました。ぼくは、前の六年生のようにならなと思ってとてもうれしく思いました。ぼくたちは毎日みんなと遊んでとても楽しくなってきました。その遊びのせいか、長田

町章にも、町木であるイチヨウの葉が三枚示されている。最後に、緑あふれる三股町にするには私達がどう取り組んでいけばいいのかを考えてみた。一人一鉢運動も大変いいことだと思うし、町内の公共施設や道路ぞいに苗木を植えるのもよい。

しかし、それよりもっと私達がしてほしいことは、三股町の人びとがみんな、木や花、そう、緑を愛するやさしい心を持つてもらいたいということである。一本の苗木を植え、それを愛し、その木が大きく成長するまで見守り、世話をし、やがては大きな木になるまで育てる心を養ってほしいと思う。そうすれば、三股町をおとずれた人みんなが「一番印象的なことは緑が多く自然が身近にあることですね。」と言う会話が夢ではなく現実になる日があると思う。緑を増やそう、苗木をたくさん植えよう。と、口で言うのは簡単である。でも、どんなによい計画にしても、「よし、やるぞ。」という強い意志がなければ、緑あふれる三股町にはならないと思う。

これから、三股町を守るには私達なのである。子孫のためにも、そして、町の人みんなのためにも、緑を守り、緑を増やしていきたいと思う。いつか、この言葉が本当になる日まで

# こんな人になりたい



宮村小 6年 福元 智美

六年生になった今、自分の将来のことについてふっと考えたりします。「将来の夢はなんですか。」ときかれて、真っ先に思いつくのは職業です。

小さい子にきいてみても、「何になりたい。」というかわい回答えが返ってきます。私の将来の夢は、医者になって多くの人の命を助けることです。本当になれるかどうかはわかりませんが、とてもやりがいのある仕事だと思いません。

今までの私であればここまでで終わりののですが最近もう少し深く考えるようになりました。

この前の国語の時間に教わった「医者は仁術」ということばのように、医者になる人は人間性もしっかりしていなければなりません。(今の私はどうだろう。どんな人間性が医者には必要なのだろう。)そう考えると「将来の夢」と言われたときに、「何になりたい

い」ということよりも「どんな人になりたいか」をはっきりさせることが大切だということがわかったのです。

私のめざす人間像は三つあります。まず心のおおらかな人です。いいかえれば心を広くもつことです。病气やけがをする人は、不安で心配なものです。そういう人達の気持ちをつつみこんであげられるような広い心を持ちたいと思います。おもいやりの心を忘れないで親切にすることもその一つだと思います。ユーモアを理解できることも大切だと思います。

二つ目は、心の強い人です。医者はずばやい判断と決断を求められる時があります。少しのことで心がぐらつかないように、しっかりと自分の信念をもっておかないといけないと思います。

三つ目は、心の清い、きれいな人です。せつかくおほかで強い心の持ち主でも、悪いこと、まちがったことをしては何にもならないからです。

少しよくばりかもしれませんが、私はこの三つの心を持つことが医者としても人間としても大切なような気がします。

では今の私はどうなのか。私の性格にはひょうきんな面もあるし、まじめでもの静かな面もある。また、妹の前でも、お姉ちゃんぶっているときもあればやさしい時も

ある。という、自分でもよくわからない性格で、医者に向いている部分があれば向かない部分もあります。どちらかというと、向いていない部分が多いのかもしれない。いやなことをすぐ忘れられないのもその一つだと思います。でもそれらを土台にして、性格はだんだん変えていけるものだと思います。

そこで、私には今とてもほしい物があります。それは、私のあこがれる人間性の一つでも持っている友達、そして私のなやみを聞いてくれる友達です。

ただの友達は、作ろうと思えば千人でも二千人でも作れるでしょう。でも、私を成長させてくれ、しかも私の心の中を理解してくれ、そんな波長のあった友達は、一生かかっても何人できるでしょうか。もちろんそのためには、自分もその人のことを成長させることができ理解してあげなければなりません。とても難しいことですが、ぜひそういう友達を作りたいと思っています。

これから、中学生になり高校へ行き、大学を出て両親や妹と過ごす時間より、友達といる時間が多くなっていこうとしている今、なおさら本当の友達の大切さを感じます。

# 子どもの力を信じて可能性を伸ばす

千葉県立千葉盲学校  
寄宿舎サッカー部「ペガサス」監督

霜田 幸宏

サッカーをしている子どもたちの顔はとても素晴らしい。輝いています。いつも子どもたちには、「目が不自由だからといって、負けるな」と怒鳴っています。ですが、実は私のほうが子どもたちにいるいろいろなことを教わっているのかもしれない。

創造性とやる気を壊すことにもなりかねません。子どもたちの力を信じて、困ったときは応援していく—それが、大人の役割だと思っています。



## いよいよようどうかい

三股小一年 堂 領 のぞみ

たくさんのおひとがみててとちゅうでまぢがえたらどうしよう  
あおだんがかつたらいいな  
もしもかつたら  
なんども  
ばんざいしたいな

※小学校はじめてのようどうかい  
まぢにまつたうんどうかいをド  
キドキしながらむかえている、  
のぞみちゃんの気もちがよくで  
ているよ。  
いよいよというだいのことばが  
とてもきいています。

## きんもくせい

三股小三年 堂 領 ちとせ

だいたいいろのきんもくせい  
いいにおいがしてくるよ  
くんくんにおいをかぎながら  
ねこが近くをとおります

※終わりの二行がいいね。とお  
り  
ますとしてるので、ゆっくり  
時間が流れてゆく感じがです。

## おかあさん

和 気 智 子(母)

電話の向うの遠いおかあさん  
こんなに大きくなった私を  
気付かってくれてありがとう  
いつまでも心配かけてごめんなさい  
私がおかあさん



## 【小・中学生向】

ひこうせんなつやすみごう  
まさきえみこ  
ぼくのロクロクザウルス  
きどのりこ

ふしぎなバックミラー杉 みきこ  
そらをとんだくじら 松田 司郎  
みみのなかのごろごろ岡 信子  
とっちゃん 斎藤 尚子  
三人とんまじまんくらべ 木島 始  
カレヴァラ物語 高橋 静男  
アーサー王物語 井村 君江

## 詩の広場

### 子どもの詩 母の詩

先日、お母さんと図書室に入ってきた三、四才の男の子が靴棚を見て

「あつ、お父さんが来てい  
る。」と叫びました。その靴  
は全くお父さんと同じ皮靴なの  
です。  
幼児は、表現が直感的です。  
大人のように理くつが先にきま  
せん。  
こういう感性をたいせつにし  
たいものです。

## 年末年始の休館

年末年始は次のように休館しま  
す。ご承知ください。

平成5年12月27日から  
平成6年1月4日まで

## グレン・アンダーソンさんの話し合い

図書室でお話ししている、いきいき読書会が、本町教育委員会の国際交流員アンダーソンさんと10月21日、中央公民館で話し合いをもちました。最近の国際事情やアメリカ人の物の考え方、日本との文化の違いなど話がはずみましたが、わずか2時間ほどでしたが、有意義なひとときだったと思ひます。中には、初めて外国人と話したという人もいました。機会があれば、もう一度もちたいという感想でした。

## やまびこ文庫図書交換

4ヶ月ごとに県立図書館のやまびこ号が本の交換にきます。今回は11月16日でした。いちばん読まれる推理小説文庫版を多く入れました。新刊物もあるのでご利用ください。一人2冊10日間貸し出します。

## 12月の休館日 (中央公民館図書室)

週	日	月	火	水	木	金	土
①				1			
②		6	7				
③		13	14				
④	19		21		天皇陛下御即位25周年		
⑤		27	28	29	30	31	

数字は休館日。1日は図書整理日。7、14、21日は午後1時から開きます。27日から年末休館します。

## 新刊図書のお知らせ

中央公民館では、次の図書を入  
手しました。ぜひ、ご利用くださ  
い。

書名 著者名  
【一般向】  
火星に魅せられた人びと  
ジョン・ノープル・ウィルフォード  
ボランテイア 金子 郁容  
三たびの海峡 帯木 蓬生

みんなが忘れてしまった大事な話  
志ありせば吉田松陰 奈良本辰也  
森 毅  
音符 三浦 恵  
あづま橋 伊集院 静  
めぐりあいし人びと 堀田 善衛  
われに万古の心あり 松本 健一  
わが社のつむじ風 浅川 純  
雲の涯 宗田 理  
宇宙実験レポート 毛利 衛  
世論の嘘・新聞の偽善 永田 照海

【小・中学生向】  
まさきえみこ  
きどのりこ  
みきこ  
司郎  
信子  
尚子  
始  
静男  
君江



## シルバーが移転

シルバー人材センターが10月、役場の近くに移転しました。  
 シルバー人材センターは平成元年5月に発足。これまで町福祉センター内に事務所を構え業務を営んできましたが、手狭だったため法人化を機会に移転したものの、新事務所はプレハブ平屋建てで、広さは18坪。場所は、三股派出所の南隣になります。移転を契機に、同センターの一層の発展が期待されています。



## 丈夫に育ってね!! 赤ちゃん53名が土俵入り



赤ちゃんの健やかな成長を祈願する「赤ちゃん土俵入り」が11月7日、宮村の御年神社秋祭りで行われ、宮里大地ちゃん(11カ月、小鷲巣)ら53名の赤ちゃんが土俵入りしました。

赤ちゃん土俵入りは、地域の活性化につなげようと5年前に始まったもの。物珍しさや親心も手伝ってか、毎年、都城北諸県郡内から大勢の赤ちゃんが参加しています。

土俵入りではまず、かつて青年団相撲で活躍した山元秀一郎さん(57歳、寺柱)や国体選手ら10数名の力士が模範相撲を披露した

後、赤ちゃんが一人ずつ力士に抱かれて登場。力士がしこを踏むと、観衆から「ヨイショ、ドッコイショ」のかけ声がかかり、中にはびっくりして泣き叫ぶ赤ちゃんもいて、会場の笑いを誘っていました。

## 署名で事故防止を誓う

### 仲町交通安全の夕べ

仲町自治公民館(黒肥地活館長、228戸)は、10月22日午後8時から「交通安全の夕べ」を町研修センターで開きました。

夕べは、交通事故のない集落づくりを進めるには家族ぐるみで取り組むことが必要と昨年に続いて開いたもの。今年も、さらに住民の交通安全意識を高めるため、事前に「交通事故防止活動実践宣言」の署名運動も展開しました。

夕べには子供から高齢者まで多数の住民が出席。まず、各支部長が署名簿を三股派出所長の増田警部補に手渡し、「交通事故の被害者・加害者に絶対にならない、飲酒・暴走・改造車の運転をさせない、許さない」と決意しました。

その後、交通安全映画の上映や講話が行われ、参加者は改めて交通安全に対する認識を深めていました。



## クラブ功労者と

### 介護者を表彰

#### 第30回老人クラブ大会

町老人クラブ大会が10月22日、午前9時30分から町体育館に会員や来賓など約500名を集めて開かれました。

大会は、生活経験豊かな老人の心と力を結集し特色のある活動を進めようと毎年10月に開いているもので、今年も30回目の記念すべき大会。席上、クラブの育成発展に貢献した人や寝たきり老人の介護者など18名が表彰されました。被表彰者は次のとおり

永年功労者

- 桑畑恩(山王原)、坂元親雄(同)、神宮司ミエ(同)、下村宗治(上米)、小牧憲三(梶山)、山田セツ(同)、今村テル子(田上)、津崎義清(飯屋)、坂元儀成(餅原)、野元正直(上新)、桑畑美喜雄(下新)、尾辻清春(植木)
- ねたきり老人等の介護者
- 堀内久子(中米)、蔵本ミカエ(同)、下沖ツルエ(今市)、川畑正美(同)、今井サダ子(同)、樋口トシ(同)

## 地元の小学生と交流

### 梶山グラウンドゴルフ同好会



ルールなどを説明した後、6名1組で11チームを編成し競技開始。グラウンドゴルフは初めての子がほとんどでしたが、高齢者と楽しくプレーしながら交流を深めました。なお競技終了後は、同好会から子供たちにノートと鉛筆がプレゼントされました。

11月5日、梶山グラウンドゴルフ同好会(永山親義会長、会員28名)が梶山小を訪れ、4、5、6年生43名にグラウンドゴルフを手ほどきしました。

地元の子供たちとの交流を深めようと、6校時のゆとりの時間を利用して実施したもの。同好会では会の活性化を図るため、これまでも長田や宮村のクラブと親善試合を行うなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

当日は会員17名が参加。まず、子供たちにスティックの持ち方や

## 奉仕作業に汗

### 2地区老人クラブ

地区運動会を前に、2地区老人クラブ(下西政則会長)の会員約160人が、さきほど2地区公民館広場の整備作業に汗を流しました。

奉仕作業は子や孫によい環境の中で運動会を楽しんでもらおうと行ったもの。同広場が約7反と広



く、しかも草が生い茂っていたため、地区壮年部にも協力を要請。

当日は、午前7時から壮年約40人が草刈り機をかついで作業した後、老人クラブの会員が刈られた草を集めて燃やしたり、くわやくまでを使って小さな草まで丹念に取り、昼頃には広場は見違えるようにきれいに。お陰で翌週、盛大な運動会が実施できました。



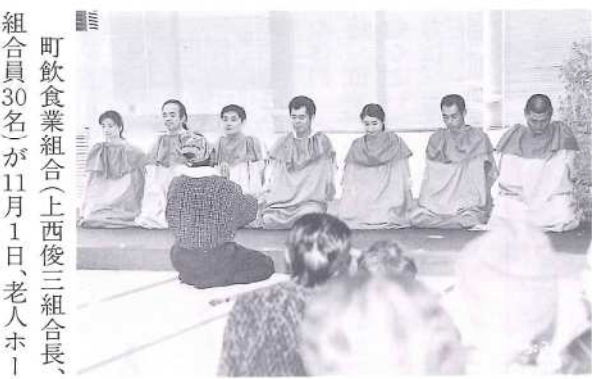
## 稲刈りを体験

### 勝岡小と

#### 西ファイターズ

実りの秋を迎えて、勝岡小学校(村中清美校長、児童数327名)の5、6年生と、三股西ファイターズ(前村 強監督、団員35名)は、さきほど夢池と今市のたんぼでそれぞれ稲刈りをしました。

どちらも6月、子供たちが泥まみれになりながら田植えをしたもの。稲刈りはもちろん、鎌を持つのも初めての子がほとんどでしたが、交代でたんぼに入り、黄金色に実った稲を慎重に刈り取りました。



町飲食業組合(上西俊三組合長、組合員30名)が11月1日、老人ホー

## 清流園で寸劇を披露

### 町飲食業組合

ム清流園を訪れ、入園者に寸劇「笠地蔵」を披露しました。

慰問は、今回初めて企画したものの。披露する以上、恥ずかしい劇はできないと、この日のために週2回、2か月間にわたって練習を重ね、衣装や小道具も組合員が手作りして準備しました。

当日は、組合員や準組合員など20数名が参加。まず、奇術や歌で入園者を楽しませた後、ナレーションに従って組合員全員が笠地蔵を上演。主演者のアドリブを交えた演技と脇役たちのおもしろおかしい仕草に、会場は終始笑いの渦に包まれていました。